

# Turtle and Carabao

## カメとスイギュウ

みやけ ただあき：ぶん

ふじた はるよし：え

Japanese and English Text by TADAAKI MIYAKE

Illustration by HARUYOSHI FUJITA



One summer day, Carabao was walking along a dusty country road, when he met with Turtle who had just come out of the ricefield.

"Good day, Carabao," said Turtle. "How are you?"

"I am hotter than a fried egg," said Carabao. "I'd like to bathe myself. Do you know if there's a pond around here?"

"Yes, there's one I know," said Turtle.

なつのあるひ スイギュウが いなかのみちを あるいていると  
たんぼから カメが あがってきました。

「こんにちは、スイギュウさん。ごきげんいかが」

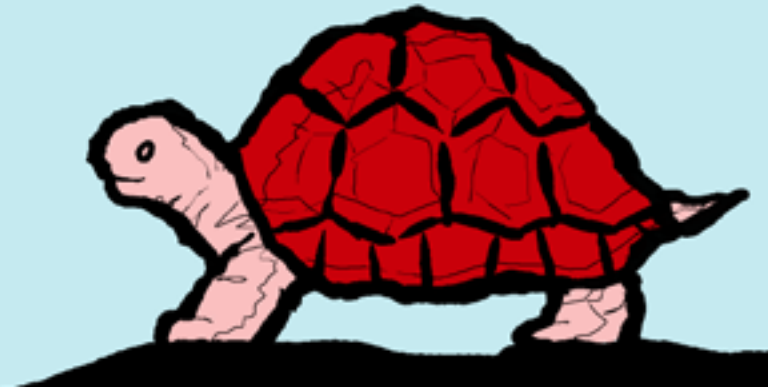
「あつくて あつくて たまらんよ。みずあびを したいんだが  
このあたりに いけはないかね」

「いけなら このさきに ありますよ」



"Is it big enough?" asked Carabao. "You see I am the biggest animal in the land."  
Turtle wanted to make friends with Carabao, and so he said, "It's big enough, but rather far from here. So I'll show you the way."  
But Carabao said, "I'm in a hurry. I don't want to waste time."

「おおきさは じゅうぶんだろうな。なにしろ わしは くにで  
いちばんおおきな どうぶつだからな」  
カメは スイギュウと なかよくなりたいと おもいました。  
「おおきさは じゅうぶんだけど すこし とおいから ぼくが  
あんないして あげますよ」  
「わしは いそいでるんだ。おまえと いっしょに いったんで  
はひがくれちまうよ」



Turtle was terribly hurt.

"I just wanted to help you. How can you be so ungrateful?"

"I just said it would take time because you are slow. Do you think you can run faster than me?"

"Of course. I am sure I can race and beat you."

"I cannot race with the slowest creature in the world like you." So saying, Carabao began to leave.

カメの ころは ひどく きずつきました。

「せっかく おやくに たてればと おもったのに そのいいぐさは ないでしょう」

「のろまに のろまって いただけだよ。それとも おまえが このわしより はやくはしれるとでもいうのかい」

「もちろんですとも。かけっこなら あなたなんかに まけません。なんなら これから きょうそう しましょうか」

「せかいいち のろまの おまえと かけっこは できないよ」

スイギュウは そのまま あるきさろうと しました。





Turtle called from behind, "I will go round the country and tell everyone that you are too much of a coward to race with Turtle. Is that OK?"

すると うしろから カメのこえが おいかけて きました。  
「じゃあ これから くにじゅうを まわって スイギユウは カメと かけっこもできな  
いおくびょうものと いいふらしますが、それでも いいですね」



"I am not a coward!" cried Carabao. "All right, I will accept your challenge."

"Then shall the race be over three hills?" said Turtle.

"No, it'll be over seven hills, and it'll be in three days time so that we can

これは ききずて なりません。スイギュウは いいました。

「わしは おくびょうもの じゃあない。よし おまえの ちょうせんを うけてやる」

「では ここから みっつのおかごえで いいですね」と カメが いいました。

「いや ななつのおかごえだ。それに おたがいの なかまに しらせるために

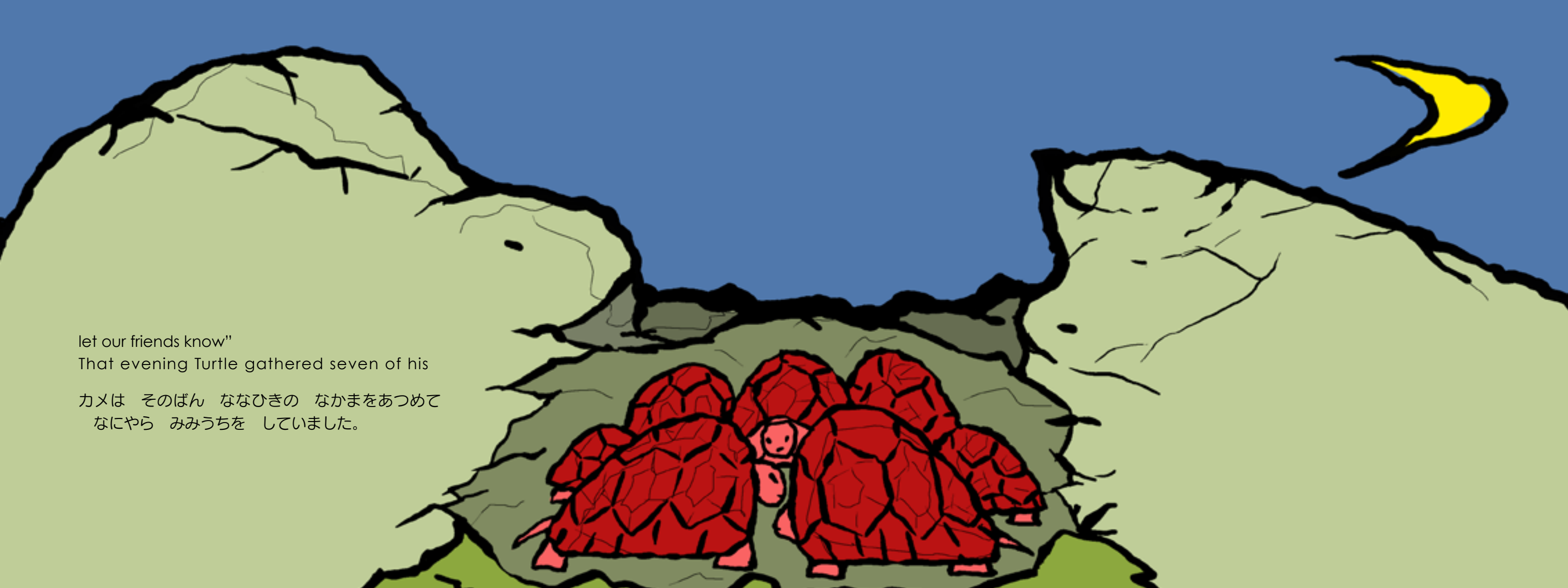
きょうそうは みっかご にしょう」と スイギュウが いいました。



let our friends know"

That evening Turtle gathered seven of his

カメは そのばん ななひきの なかまをあつめて  
なにやら みみうちを していました。





friends and whispered something into their ears.

On the day of the race, Turtle and Carabao stood on the starting line, while many animals were standing around and

いよいよ きょうそうの ひに なりました。

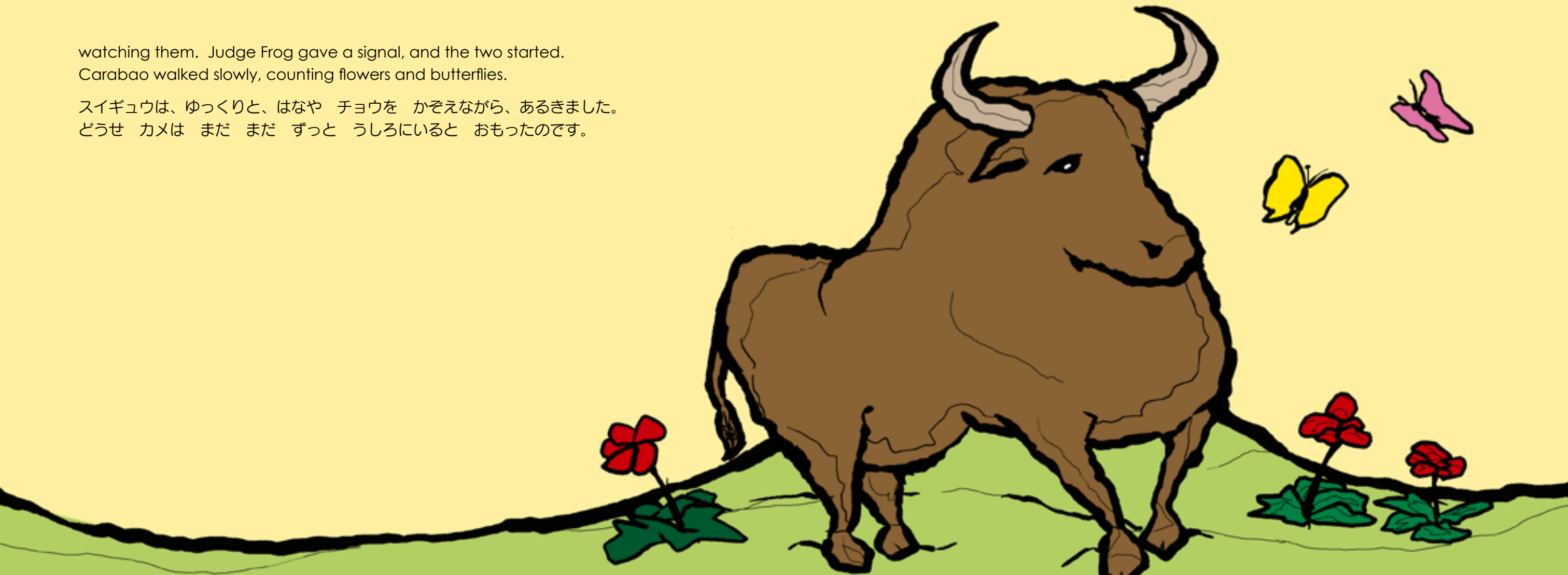
おおぜいの どうぶつたちの みまもるなか カメとスイギュウはスタートラインに つきました。

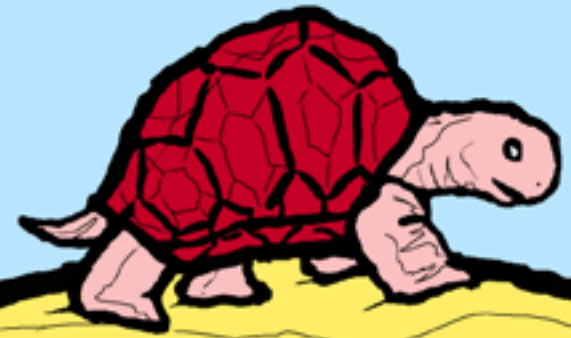
カエルの しんぱんいんが「ヨーイ・ドン」の あいずをして、ふたりは いっせいに かけだしました。



watching them. Judge Frog gave a signal, and the two started.  
Carabao walked slowly, counting flowers and butterflies.

スイギュウは、ゆっくりと、はなや チョウを かぞえながら、あるきました。  
どうせ カメは まだ まだ ずっと うしろにいと おもったのです。





He thought Turtle was far behind.  
However, when he came to the first hill, whom did  
he see but Turtle walking in front of him, muttering,

ところが さいしょのおかに きたとき  
めのまえを カメが のそりのそりと あるいて  
ゆくではありませんか。  
しかも、「スイギユウなんかに まけるものか。  
スイギユウなんかに まけるものか」と  
つぶやいています。

"I'll beat Carabao. I'll beat Carabao."

Carabao could hardly believe his eyes.

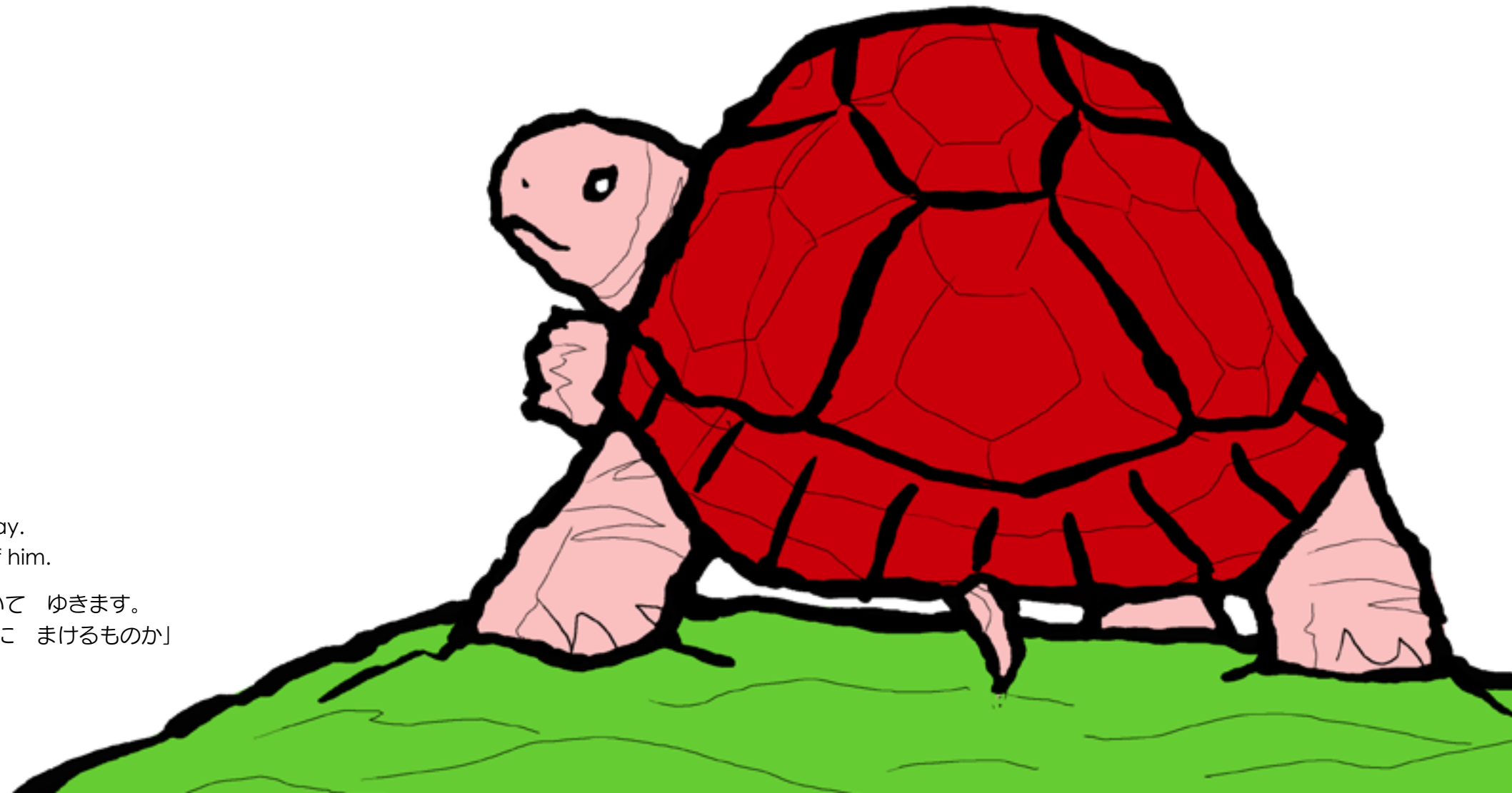
スイギュウは じぶんのめを うたがいました。

こんどは とちゅうでやすまず にばんめの おかに やってきました。



He ran to the second hill without stopping on the way.  
But look! Here again he saw Turtle walking in front of him.

ここでも めのまえを カメが のそりのそりと あるいて ゆきます。  
「スイギュウなんかに まけるものか。スイギュウなんかに まけるものか」





"I'll beat him. I'll beat Carabao."

Carabao ran as fast as he could to the third hill, where again he saw Turtle walking in front of him.

スイギュウは ぜんりよくで はしり、さんばんめの おかにやっ て きました。

やはり カメが めのまえを あるいてゆきます。

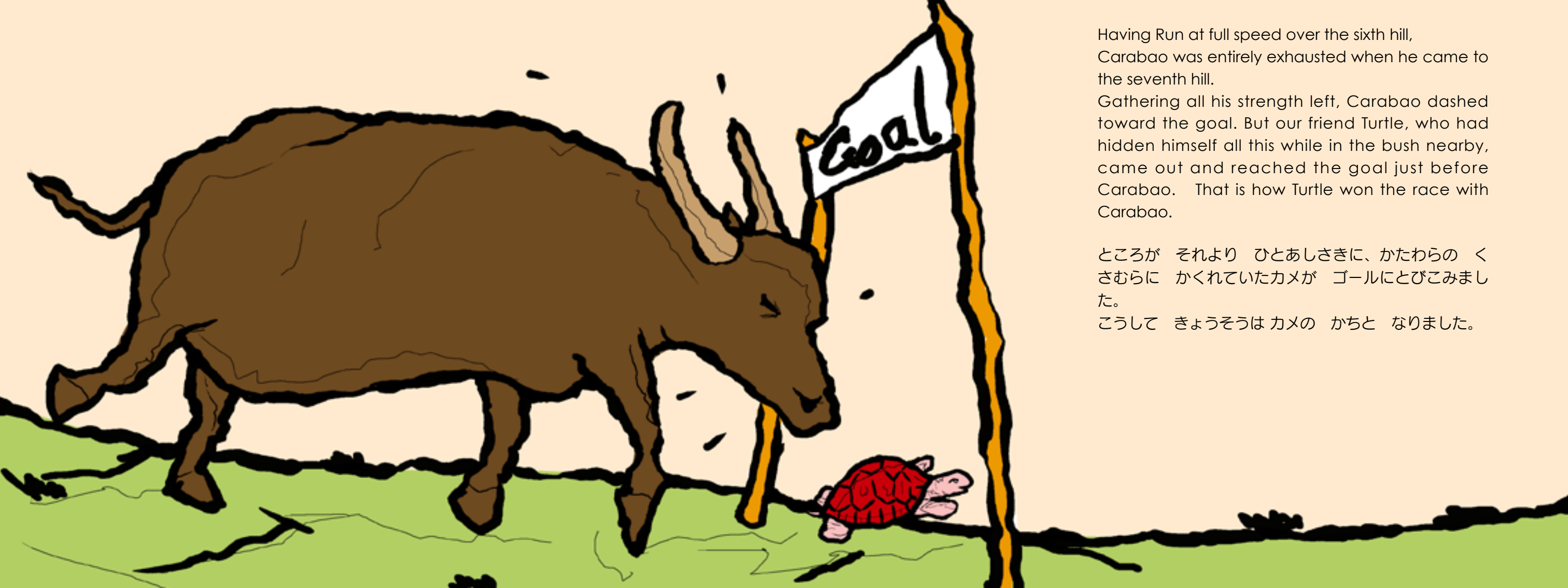
4ばんめの おかでも 5ばんめの おかでも おなじこと がおこりました。





The same thing happened on the fourth hill, and on the fifth the same.

こうして 6ばんめのおかをこえ 7ばんめのおかにきたとき  
スイギュウは もう ヘトヘトでした。  
それでも さいごのちからを ふりしぼり ゴールにむかって  
ゆきました。



Having Run at full speed over the sixth hill,  
Carabao was entirely exhausted when he came to  
the seventh hill.

Gathering all his strength left, Carabao dashed  
toward the goal. But our friend Turtle, who had  
hidden himself all this while in the bush nearby,  
came out and reached the goal just before  
Carabao. That is how Turtle won the race with  
Carabao.

ところが それより ひとあしききに、かたわらの く  
さむらに かくれていたカメが ゴールにとびこみまし  
た。  
こうして きょうそうは カメの 勝ちと なりました。

このえほんは よんだあと えほんのすくない フィリピンの しょうがくせいのおともだちへ プレゼントして あげてください。

●お礼とおねがい

この度は、贈る絵本を手にしていただきありがとうございます。

この絵本は、心のふれ合う機会が少なくなった日本の子ども達と、絵本を手にする機会の少ない開発途上国の子ども達のために、制作しています。日本の子ども達が読んだ後、下記の住所までお送りいただければ当会が責任を持ってフィリピン等の子ども達へお届けします。

この絵本をお子さんの意志で、フィリピンの子どもの達に贈っていただくよう保護者の皆様にご指導いただければ幸いです。大切なものだからこそ、心をこめて人にプレゼントすることの尊さを知ってもらいたいのです。

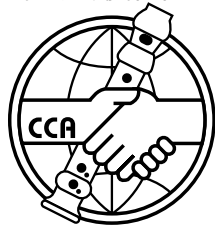
子ども達の明るい未来のために…。

「リコーダーをおくる会」代表 黒住宗道

「子ども達に絵本を贈る運動」参加問い合わせと贈る絵本の返送先

〒700 岡山市中山下1-11-40 FITZ 8F 「リコーダーをおくる会」 Tel.086-225-7772

THE CHILDREN'S CULTURAL ASSJ



This picture book is presented for you, by Japanese children, through THE CHILDREN'S CULTURAL ASSISTANCE.

読者の皆さんへ

フィリピンの昔話「カメとスイギュウ」をお届けします。日本でおなじみの「ウサギとカメ」の話と読みくらべてみてください。よく似た話ですが、それぞれから読み取れる教えはまったく異なります。前者は、弱者が強者を負かすには知恵の働きが必要というもので、ヨーロッパでもとても人気があります。後者は、油断を戒める話で、古代ギリシアのイソップ物語から、インドの仏教説話を経て、日本に伝わったものです。皆さんはどちらが好きですか。

三宅忠明（岡山県立大学・教授）

Dear Reader,

How did you like the Philippine folktale *Turtle and carabao*? In Japan the story of *The Hare and the Tortoise* is very popular. Yes, it is known to almost everybody. These two tales do seem similar, but the lessons contained are completely different from each other. The former, which is also popular in Europe, tells us that the weak can beat the strong only by wisdom, while the latter, which originated in Aesop's Fables, warns us that too much confidence can lose the race as the Ancient Buddhists in India taught their children too in the form of fables. Which of the two did you like better?

Sincerely,

Tadaaki Miyake, Ph. D.  
(Okayama Prefectural University)

編集部より

シリーズで初めてのフィリピンの昔話です。多くの日本人が、この話を狡いと感じるかもしれません。のろまなカメが油断したウサギに勝つ「ウサギとカメ」が我が国では人気があるからです。しかし、考え方を換えれば、実力のあるウサギが気を抜いて、能力の劣るカメに負けた話です。カメは普段以上に努力もしないで、足の速いウサギが昼寝してくれたおかげ勝てた訳です。これは、努力と言うよりは、棚からぼた餅の幸運です。現実社会は力のあるものが勝つのが当たり前で、ウサギはどうやら昼寝はしないようです。平和で、植民地にもなったことのない日本では「ウサギとカメ」思想が通用しますが、国際社会で苦労した国では、大国の侵略に対して、知恵で戦う「カメとスイギュウ」思想に人気があるようです。今後、国際社会で生きていく日本の子供たちに、このような考え方が、世界の主流だと言うことも教えていく必要があると絵本にしました。

なお、この絵のモデルとなった水牛は、沖縄県石垣市の竹富島で、古き時代の八重山の町並みを観光客を乗せた車を引いている紫式部です。確か昔、東南アジアから来たと聞きました。彼女も国境を越えた国際貢献を手伝っているのかもしれません。長生きして頑張ってください。

●贈る絵本 通巻8号 「カメとスイギュウ」

---

“Turtle and Carabao” Japanese and English Text © 1998 Tadaaki Miyake. / Illustration © 1998 Fujita Hariyoshi.

---

1998年2月1日発行/発行人 鎌田栄治/発売人 河口純一郎

編集・発行 有限会社アルコプランニング 〒700岡山市中山下1-11-40 中山下黒住ビル 8F Tel.086(225)5015

発売 有限会社温羅書房/印刷 コーホク印刷株式会社

この作品を許可なくして転載・上演・放送しないこと/万一不良本がありましたら、お取り替えます。

---